

山梨県小中学校体育連盟ハンドボール専門部 競技部規定

令和6年7月10日改訂
山梨県小中学校体育連盟ハンドボール競技専門部

1 競技規則

全ての大会は、当該年度の（財）日本ハンドボール協会の定める競技規則によって実施する。ただし、競技形式など本県内のみの特別ルールとして別に定めることもある。

2 競技形式

① 試合形式

ア) 県新人大会・県選手権大会・県総合体育大会

- a) 男女いずれかの大会参加校が10校以上の場合は、その種別はトーナメント方式とし、ベスト4のチームでの決勝トーナメントか決勝リーグを行う。
- b) 男女いずれかの大会参加校が9校の場合、その種別は3チームずつ3ブロックに分けて予選リーグを実施し、各ブロック上位2校による決勝トーナメントを行う。
- c) 男女いずれかの大会参加校が8校の場合は、その種別は2ブロックに分けて予選リーグを実施し、各ブロック上位2校による決勝トーナメントを行う。新人大会・選手権大会の場合は、予選リーグ各ブロック上位3校による決勝トーナメントで行い、総合体育大会の場合は、予選リーグ各ブロック上位2校による決勝トーナメントで行うこととする。
- d) 男女いずれかの大会参加校が7校の場合は、その種別は3チームのブロックと4チームのブロックの2ブロックに分けて予選リーグを実施し、各ブロック上位2（Aブロックは2チーム、Bブロックは3チーム）校による決勝トーナメントを行う。新人大会・選手権大会の場合は、予選リーグ各ブロック上位2校による決勝トーナメントで行い、総合体育大会の場合は、予選リーグ各ブロック上位2校による決勝トーナメントで行うこととする。
なお、男女の合計チーム数が13チーム以下の場合（例 男子7 女子6 など）は、予選リーグを行わず、総当たり戦で行う場合もある。事前の専門部会で決定)
- e) 男女いずれかの大会参加校が6校の場合は、その種別は2ブロックに分けて予選リーグを実施し、各ブロック上位2校による決勝トーナメントを行う。
なお、特例として男女の合計チーム数が14チーム以下の場合（例 男子8 女子6 など）6チームの方を予選リーグは行わず、総当たり戦で行う場合もある。（新人大会・選手権大会のみ、事前の専門部会で決定)
- f) 男女いずれかの大会参加校が5校以下の場合は、その種別は出場校の参加状態及び時間設定の関係で事前の専門部会で決定する。

イ) その他、中学部主催の大会については、その大会の要項に従う。

② シード権について

- a) 新人大会はオープンとする。尚、地区を考慮するかは、事前の専門部会で協議する。
- b) 県選手権大会・県総合体育大会は、前大会の上位4校をシードとする。
- c) シード校が棄権の場合は、b)に準じてシード校を繰り上げる。

③ 競技時間（男女共通）

a) トーナメント方式

総合体育大会の場合、準決勝・決勝戦を正規の時間25分-10分-25分で行う。延長戦についても第2延長まで実施し、その後は7mTCを実施する。その他の試合は、20分-10分-20分で行い、延長戦も第2延長までとする。その後は7mTCを実施する。新人大会・選手権大会の場合は、予選のみ20分-10分-20分で行う。決勝トーナメントは25分-10分-25分で行い、原則として延長戦も第2延長までとし、その後は7mTCを実施する。（大会運営上、ランニングタイムで行う場合は、事前の専門部会で確認をする。）

b) リーグ戦

- ・予選リーグがある場合は、予選リーグは20分-10分-20分で行い、延長戦は行わない。その後、原則決勝トーナメントを実施する。総合体育大会の場合、準決勝及び決勝戦を25分-10分-25分で行う。延長戦についても、第2延長まで実施し、その後は7mTCを実施する。その他の試合は20分-10分-20分で行う。延長戦は第1延長までとし、その後は7mTCを実施する。
- ・決勝トーナメントではなく、決勝リーグで実施の場合は、参加校の出場状態及び時間設定の関係で、20分-10分-20分か25分-10分-25分で実施するかを、事前の専門部会で決定する（大会運営上、ランニングタイムで行う場合は、事前の専門部会で確認をする）。

c) タイムアウトについては、（財）日本ハンドボール協会の定める競技規則に準ずる。

d) 7mスローでは時計を止めない。

大会運営上ランニングタイムで実施する場合もある。

e) 選手が退場になった場合、時計を止める。

f) レフェリーの判断で時計を止める場合もある。

④ 勝敗の決定

ア) トーナメント形式

大会ごとに定めている競技形式で勝敗を決定する（③の競技時間項目参照）。

イ) リーグ戦

（財）日本ハンドボール協会の定める競技規則必携を参考に、下記の要領で勝敗を決定する。

A) 順位決定は、ポイント方式をとる。

- ・勝ち：2点、引き分け：1点、負け：0点とする。

B) 同点チームが、2またはそれ以上の場合には、次の方法で順位を決定する。

（獲得可能なポイント数の25%に達しないチームは除く）

a) 得失点差の多いチームが上位

b) 得点数の多いチームが上位

c) チーム間の対戦結果（1または複数）勝ちチームが上位

C) 上記Bの方法でまだ順位が決定できない場合は、次の方法で決定する。

a) 全競技の総得失点差の多いチームが上位

b) 全競技の総得点の多いチームが上位

D) ただし、上記BとCでも決しない場合は、抽選を行い、順位を決定する

E) ただし、棄権があった場合は、12対0とし、棄権チームの負けとする。

⑤ 本県内すべての大会において、松やにの使用は禁止とする。ただし、両面テープの利用に関しては、各チームの判断とする。

- 3 大会申し込み，登録，出場選手，抽選（男女共通）
- ①大会参加申し込みについては，所定の申し込み用紙に必要事項を記入の上，学校長の許可を得て，職印押印のうえ申し込むこと。
 - a)年度当初5月に部員の登録をする（本県及び日本ハンドボール協会の双方）。
 - b)各大会の抽選日（専門部会など）には，所定の申し込み用紙を提出する。（要学校長印）
 - c)ユニフォームの番号は，大会申し込みの番号と同一であること。万が一変更があった場合は，大会初日の顧問会議の際に申し出をし，専門部から了承を得ること。
- ※変更の確認は，試合前にレフェリー及びテクニカルデレゲート（以降TD）が行う。
- ②各大会の参加申し込み期限及び抽選については，各大会で定める。
 - ③連絡なしに参加申し込み期限を過ぎた場合，大会に参加できないことがある。なお，抽選会にも連絡なしに遅刻，欠席した場合も大会に参加できないこともある。
 - ④山梨県内における参加登録人数は，チーム役員4名，選手15名までとする。
- 4 大会の棄権
- 大会を棄権する場合は，前々日までに専門部長，専門委員長，審判長，対戦相手校の顧問に必ず連絡しなければならない。正当な理由なく棄権した場合は，次の大会の出場を停止することもある。ただし，感染症等の関係で棄権を余儀なくされた場合は大会当日の申し出も受け付けるものとする（専門部での協議が必要となる）。
- 5 引率責任者及び役員，試合中のベンチサイドの任務
- ①大会期間中の言動及び服装は，教職員として品位と節度のあるものとする。試合中の役員の服装は，スラックス（半ズボンは不可）に衿のあるシャツ，またはスポーツウエアを着用し，運動靴（体育館シューズ）を履かなければならない。
 - ②控え選手はベンチに着席して観戦し，試合に出場する前のアップはボールを使わずに，ベンチ後方で行うこと。
 - ③大会期間中の選手の言動は，本来の活動の趣旨である教育的価値を尊び，スポーツマンシップに則ったものでなければならない。
 - ④外部指導者，部活動指導員の待遇，役責については山梨県小中学校体育連盟が示している規則に従うものとする。
 - ⑤試合開始前，終了後の挨拶について，ベンチサイドにいる役員及び選手は起立しお互いに挨拶をすること。
 - ⑥会場となる体育館においては，上下履きの区別（二足制）もチームの責任において厳守させる。なお，違反したチームは，出場を取り消す場合もある。
 - ⑦試合中，コーチングとしてベンチサイドに立つ者は，原則1名までとする（継続的に2名以上が立たないように留意する）。
 - ⑧チームの荷物は，ベンチサイドよりも後ろに下げて置くこと。
- 6 応援・観戦について
- ①選手，役員，大会運営員，または観客に問わず，自チームや相手チームを誹謗したり，挑発または侮辱，中傷したりする発言や応援は固く禁ずる。
 - ②選手，役員，大会運営員，または観客に問わず，レフェリーに対して誹謗したり，挑発または侮辱，中傷したりする発言は固く禁ずる。
 - ③大会参加前や試合前に，大会役員やチーム役員が必ず自チームの選手や役員，保護者に①～④を通達すること。万が一，①，②が遵守できない場合は，大会役員やチーム役員が口頭で注意をし，今後の対応について専門部で協議して決定する。最も重い罰則として，該当する観客の入場を認めないこともある。
 - ④試合中に引率者や外部指導者，部活動指導員に該当しない者がプレー中の選手や役員に指示を出すことを固く禁ずる。なお，ベンチサイドではないコートサイドからのプレーに関わる指示も同様とする。
- 7 ユニフォーム
- ・各チームは濃淡2着以上のユニフォームを用意する。
 - ・試合時のユニフォーム確認は，レフェリーが事前に行う。

8 オフィシャル・TDの役割等

- ①各大会において、第1試合のオフィシャル及びTDについては、事前に決定した役員とチームが担当する。第1試合以降は、敗戦したチームの選手や役員が行うことを原則とする。なお、リーグ戦の場合は、これに限らず両チームで分担して行う。
- ②TDやオフィシャル指導担当の役員は、試合の進行を支える役割に加え、オフィシャルを担当している生徒の指導も行う。
- ③試合開始前、終了後の挨拶については、オフィシャル係も起立し、お互いに挨拶をすること。

9 その他

規則に反した場合や不測の事態が起きたときは、専門部会または顧問会議の審議を経て、決定することができる。山梨県小中学校体育連盟主催の大会については、同連盟の規約等の変更等に則り、随時対応していくものとする。

(1)大会会場使用上の注意

- ①ゴミは必ず各自で持ち帰ること。
- ②荷物置き場（控え席）は、各学校で場所を指定する。荷物を置く際、通路の妨げにならないよう留意すること。尚、貴重品や荷物の管理は各学校で責任を持つこと。
- ③下足と上履きを使い分けること。
- ④会場の入場時間と退場時間を遵守すること。

(2)活動時（主にウォーミングアップ）の注意

- ①外での活動では、ボールの使用を禁止とする。
- ②サブアリーナで活動は可能であるが、ボールの使用等に関しては、各会場の使用規定を遵守すること。また、使用は次に試合のあるチームを優先とする。ただし、サブアリーナの利用に関しては、大会ごと確認をする。
- ③コートでの活動（ハーフタイムを含む）も次に試合のあるチームを優先とする。
- ④試合が行われている際、アリーナのコート外でボールを使用することを禁ずる。